

委員会は、議案や請願の審査のほか、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。
本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対する政策提言などを積極的に行っています。

総務常任委員会

避難所における適正な 防災備蓄及び感染症対策を

総務常任委員会では、年間活動テーマを「危機管理の強化について」に設定し、市内3カ所の防災備蓄倉庫の視察を行うなど、調査・研究を進めてきました。その成果として、「避難所における防災備蓄及び感染症対策に関する要望書」をまとめ、執行部へ提出しました。

【新曽中学校について】

学校を改築・増築する場合、教育委員会と連携して防災備蓄倉庫の場所を検討することなど、2点を要望しました。

【戸田競艇企業団について】

市と戸田競艇企業団が連携し、戸田競艇場の広い空間を避難所として有効活用することなど、4点を要望しました。



▲ 12月8日 危機管理監へ要望書を提出

【その他、防災備蓄倉庫全体について】

炊き出しを行うためのガスコンロや調理器具などを揃えることなど、2点を要望しました。

【避難所における感染症対策について】

感染症対策キットの十分な備蓄に向けた協議を行うことなど、2点を要望しました。

文教・建設常任委員会

戸田型ハイブリッド学習が 全国のモデルとなるために

文教・建設常任委員会では、「教育現場の課題解決に向けて、児童・生徒と向き合うために」を年間活動テーマとして調査を行いました。

コロナ禍において始まった形式として、オンライン学習と対面授業のハイブリッド型が新たな本市の教育の一つとなりました。これまでも、教員の負担増については課題がさまざまありましたが、その中でも急遽始まったオンライン学習の在り方について、それぞれの委員が地域からの声を集め、議論を重ね、現場の状況などについて、課題や効果などの質問を重ねました。

その成果として、急加速したICT化が教育現場のさまざまな課題を解決してくれることを望み、また、コロナ禍



▲ 12月8日 教育委員会事務局へ調査報告書を提出

健康福祉常任委員会

コロナ禍における 各施設に対する支援の充実を

新型コロナウイルス感染症は、今後もさらなる感染拡大が予想され、いまだ収束の兆しが見えない状況にあります。これを受けて、健康福祉常任委員会では、勉強会や複数の関係団体との議会懇談会を開催し、感染症リスクが常に高い状況にある医療機関をはじめ、保育所や学童などの児童福祉施設及び介護施設などの厳しい現状を認識しました。

その成果として、各医療機関や施設関係者及び利用者の安心・安全な生活、不安の解消、また、事業所の経営危機を打開するための支援策について以下のようにまとめた要望書を、執行部に提出しました。

①医療・介護・保育現場などにおける、人材確保などの支



▲ 12月8日 福祉部・こども青少年部へ要望書を提出

援策を実施すること②医療機関への財政的支援を継続すること③市内保育所を対象に、大規模な感染症の流行時における運営ガイドラインを作成すること④介護施設利用者において、感染者との濃厚接触が判明した場合の緊急時の受け入れ先を近隣に確保するよう努めること。

市民生活常任委員会

新型コロナウイルスから地域経済を守れ

市民生活常任委員会では、「新型コロナウイルス対策」のうち「経済対策」を年間活動テーマとし、商工会との懇談会などを通して、今後、市内事業者にとって必要な支援策などについて調査研究を行ってきました。

その成果として、「新型コロナウイルスから地域経済を守るための要望書」をまとめ、執行部に提出しました。その要旨は次の通りです。

①すでに実施した経済対策の検証と、事業者の声を聴く機会を設け、今後の支援策に活かすこと②支援の情報が迅速に事業者へ届くようPRし、多くの支援策の中から事業者が最善の選択を行えるよう、相談・支援体制を強化すること③事業者の大きな負担である家賃・ローンなどの負担軽減のため、自己所有物件で事業を行う者も含めた、



▲ 12月8日 環境経済部へ要望書を提出